



小児科について

小児科の状況

小児科は、0歳児から15歳（中学3年）まで診ておりますが、慢性疾患の方などは、成人になっても小児科でフォローしていることもあります。

現在掛川市立病院の小児科の常勤医は2名です。交代で、1名は外来を行い、1名は病棟業務を行っております。

午前中は一般外来で、主に急性疾患を診ております。午後は予約外来で、慢性疾患で定期的受診を必要とする方を診ております。

(火)は、午前中に4ヶ月健診、10ヶ月健診、午後には予防接種を行っております。(金)の午後には、1ヶ月健診を行っております。

月、火、金は非常勤の先生が手伝っております。

第1(月)に、小児循環器外来（小児循環器専門医、岩島先生）、第1(水)に、小児腎臓外来（小児腎臓専門医、都築先生）があります。健診、予防接種、循環器外来、腎臓外来はすべて予約が必要です。

午前中の外来は、予約の必要はありません。11時までに受診手続きをしてください。

午後急に状態が悪くなった方は、かかりつけ医があれば、まずそちらを受診してください。かかりつけ医が無い場合は、まず小児科外来へ電話してください。状況をお聴きし、対応いたします。

発熱について

小児科外来を受診される患者さんの多くは急性感染症です。その多くはウイルス感染症で、数日で症状が改善してきます。ただ、インフルエンザウイルス感染症や、アデノウイルス感染症、麻疹などのように、1週間近く発熱が続くウイルス疾患もあります。発熱は、主訴として最も多い症状です。

生後3ヶ月までの発熱は、基本的に入院適応です。この年齢では、母体からもらった抗体（病原体を攻撃する物質）がありますが、免疫系は未熟で、発熱したときは、重篤な感染症である率が高いです。生後5ヶ月以降の最初の発熱は、突発性発疹症である可能性が高いです。突発性発疹症は、4日間前後高熱が続き、解熱傾向になった頃から、体幹から顔にかけて、淡い発赤疹が出るウイルス疾患です。集団生活（保育園や幼稚園）を始めて半年位は、毎月発熱するお子さんが多いです。非常にまれに、先天的な免疫系の異常がある患者さんも居りますが、多くは、いろいろな病原体に接触し、免疫を形成していく過程です。しかし、重篤にならないように、普段から、うがい、手洗いなどの励行や、基礎体力の向上、規則正しい生活を行うことが大事です。

高熱で脳に障害が残らないかしらと心配される親御さんが多いですが、38〜39度の熱がでて、意識がしっかりしていて、水分などを

をしっかり摂ればとりあえずは大丈夫です。しかし、41度以上の熱が続く、脱水がある、心臓の病気がある、先天的な重篤な異常がある、呼吸状態が悪い（呼吸数が多い、顔色が蒼白、お腹や肋骨の間が息をするたびにこべこべする）、甲状腺機能亢進症などの疾患がある場合は、熱を下げ、早めを受診してください。発熱に伴って、意識状態が悪い（呼びかけで目を開けてもすぐに眠り込んでしまう、視線が合わないなど）、頭痛（特に後頭部痛）、嘔吐、異常な興奮や過敏性、乳児の場合は大泉門（頭の前方正中線上にある骨が無くこべこべこしたところ）が腫れて盛り上がっているときは、髄膜炎や脳炎、脳症の危険性が高いので、早めの受診が必要です。当院小児科でも、年に数名細菌性髄膜炎の患者さんが入院いたします。

細菌性髄膜炎の起炎菌はインフルエンザ桿菌（インフルエンザウイルスとは無関係です）が多く、アフリカ以外の殆どの国で、ワクチン接種が行われてきましたが、やっと日本でもワクチン接種が出来るようになりました。しかし、現在フランスからの輸入品で、本数が限られ、現在のところ当院では月に10名までです。インフルエンザ桿菌ワクチン（ヒブワクチン）の案内を掲載します。ご一読ください。

Hib(ヘモフィルスインフルエンザ桿菌b型)ワクチンの予約を、H21年2月から開始いたします。
接種をご希望の方は予約をお願いします。
(当分の間、供給数が限られますので、仮予約となります)

①接種時期、スケジュールなど
 このワクチンは、不活化ワクチンで、任意接種（自費：当院では1回、7,000円＋

消費税）です。
 接種回数は開始年齢によります(4回〜1回)

- 開始年齢
- 2ヶ月〜7ヶ月未満
 初回 3回 + 追加(1年後 1回 計4回
 ● 7ヶ月〜1歳未満
 初回 2回 + 追加(1年後 1回 計3回
 ● 1歳以上〜5歳未満
 1回のみ
 (5歳以上はHib感染による重篤な症状は起き難いといわれています)

初回の接種間隔は、4(3)から8週間です。他の生ワクチンの接種を受けた方は、通常27日以上、また他の不活化ワクチンの接種を受けた方は、通常、6日以上間隔をあけてください。ただし、医師が必要と認めた場合は、同時に接種することが出来ます(例えば、三種混合ワクチンと同じ日に接種することが出来ます)。

予約は、他の予防接種の予約と同様です。
 予約受付日：毎週水、木、金曜日
 予約受付時間：午後2時00分〜午後4時00分
 予約受付電話：☎2213083
 (直通ダイヤル)

②病気の説明
 インフルエンザ桿菌b型(Hib)は、細菌性髄膜炎、急性喉頭蓋炎、肺炎、中耳炎、敗血症などを起こすことがあります。細菌性髄膜炎は、脳、脊髄のクモ膜下腔に細菌が繁殖し、発熱、嘔吐、けいれん、意識障害などを起こします。小児の細菌性髄膜炎の40〜60%はHibが原因菌です。発症は、生後4ヶ月から2歳までが多くを占めます。発症者の数%ほどは死亡(殆どは発症から24時間以内に致命的となる劇型)し、10〜20%に後遺症を残します。

小児の急性喉頭蓋炎は進行が速く、のどが